

令和8年度 掛川市二の丸美術館展覧会 年間計画

～日常をちょっと特別にする、アートのある1年～

問 文化・スポーツ振興課(☎21-1126)
掛川市二の丸美術館(☎62-2061)

展覧会	会期	概要
近現代の洋画・日本画 「美を追い求めた画家たち」	4/11 ▼ 5/24	明治以降に活躍した著名な日本画家から戦後の洋画家まで、描かれた対象に注目し紹介
グミの世界展 「旅するグミ」	6/20 ▼ 9/6	グミの歴史とパッケージの楽しさ、面白さを表現
木村セツさん静岡初の大規模個展 「97歳セツの新聞ちぎり絵原画展」	9/15 ▼ 11/23	SNSで話題の97歳のアーティストによる新聞ちぎり絵の大規模個展
アートフェスタ2026 ◆IAG掛川市賞受賞記念 田村勇太展 ◆掛川市民芸術祭優秀作品展	11/29 ▼ 12/20	東京都で開催された池袋アートギャザリング(IAG)で、掛川市賞を受賞した田村勇太さんの個展 市民が主役の掛川市民芸術祭優秀作品展
◆みんなで楽しむ美術館 「描かれた富士」 ◆特集展示「昭和の暮らしと道具」	12/26 ▼ 2027 2/28	富士山の日(2月23日)にあわせ、さまざまな画家が描く富士山の作品展示 昭和の家電など、あの頃の暮らしを想起させる
「木下コレクション ー未来へつなぐモノとかたちー 春の工芸品セレクション」	3/6 ▼ 5/5	語り継ぐ日本の技と美 300点におよぶ春の工芸品セレクション

令 和8年度、掛川市二の丸美術館では6つの展覧会を開催します。
美術館に収蔵されている工芸品をはじめ、夏には美術館としては日本初となる、グミの展覧会、また、97歳のアーティスト木村セツさんが彩るちぎり絵など、多彩な芸術を皆さんにお届けします。



二の丸美術館 HP



スタンドグラス美術館 HP

暑い日も寒い日も雨の日も楽しめる美術館で、すてきなひとときを楽しんでみてはいかがでしょうか。
併設の掛川市スタンドグラス美術館にもぜひお立ち寄りください。

掛川市伝統工芸品「葛布」のご紹介

問 産業観光課(☎21-1125)

葛布とは

葛布は、葛から取り出した繊維を緯糸として織った織物で、日本三大古布の1つに数えられ、古くから掛川市に伝承されてきた伝統工芸品です。最盛期には、40〜50軒の葛布商がいましたが、現在では、2軒までに減少し、1つの産業が消滅の危機に瀕しています。

暮らしになじむ葛布製品

葛布は、暮らしに寄り沿うさまざまな製品に使われています。葛布には渋みのある光沢があり、かばんや財布は使い込むほどに優雅なツヤが現れます。また襦や壁材にも使用でき、素朴であたたかみのある風合いを生かし、和室はもちろん洋室にも落ち着いた雰囲気を与えてくれます。

伝統産業を守る取り組み

掛川葛布事業協同組合では、「葛布活用コンソーシアム」を設立し、葛布織体験や葛繊維紙の普及、葛アートギャラリーの開催などを通じて、葛布産業を担う人材育成に取り組みんでいます。市もこの取り組みに賛同し、葛繊維紙を市内小中学校の卒業証書に採用したほか、市や企業が使う名刺に活用することを促しています。



市ホームページ



葛アートギャラリー



葛布を使った商品



葛布織機